

## 前回部会（平成19年8月28日）における指摘事項及びその対応

No.	指 摘 事 項	対 応
1	クモ類の調査結果を示されたい。	事業者が実施したクモ類の調査の結果については別添1のとおりです（p2）。
2	潮流の現況再現性について、潮流楕円の計算値と実測値との相関を説明されたい。	潮流楕円の計算値と実測値との相関について、事業者が検討した結果は別添2のとおりです（p6）。
3	食物連鎖図において、肉食性鳥類（トビなど）魚食性鳥類（カワウ、ミサゴなど）及び雑食性鳥類（スズガモ、イソシギなど）の位置付けについて、再整理されたい。	鳥類の位置付けについて、事業者が再整理した結果は別添3のとおりです（p8）。

1 クモ類の調査結果を示されたい。

## 1 調査範囲及び地点

クモ類の調査範囲及び地点は、図1（次ページ）のとおりです。

## 2 調査期間

表1 クモ類の調査期間

季節	調査期間
秋季	平成18年10月4～5日
冬季	平成19年1月17日
春季	平成19年4月17～18日
夏季	平成19年8月20～21日

## 3 調査方法

表2 クモ類の調査方法

調査内容	調査方法
任意採集法	調査範囲を踏査し、クモ類を見つけて捕まえる見付け採りや樹木の葉や枝を叩き落下するクモ類を捕虫ネットで受けるビーティング法、低木や草むら等をなぎ払うようにして捕虫ネットですくい取るスイーピング法による採集確認により、生息種を確認した。
ピットフォールトラップ法	プラスチックカップを地表に埋設し、一晩放置し、カップ内に墜落したクモ類を回収した。設置数は1地点あたり10個とした。

## 4 調査結果

表3のとおり、秋季に14科29種、冬季に12科17種、春季に12科21種、夏季に19科46種、通年で合計22科67種のクモ類が確認されました。

確認された種は、ジョロウグモ、ゴミグモ、ウツキコモリグモなど、おもに低地から丘陵地の市街地、公園、草地、農地に広く見られる種でした。

なお、下記の選定基準に該当する重要な種は確認されませんでした。

注) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

「文化財保護法」(1950年)に基づく天然記念物等

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年)に基づく国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種

「レッドリスト - その他無脊椎動物 - 」(2006年12月22日 環境省)の掲載種

「愛知県の絶滅のおそれがある野生生物 レッドデータブックあいち - 動物編 」(平成13年 愛知県)の掲載種

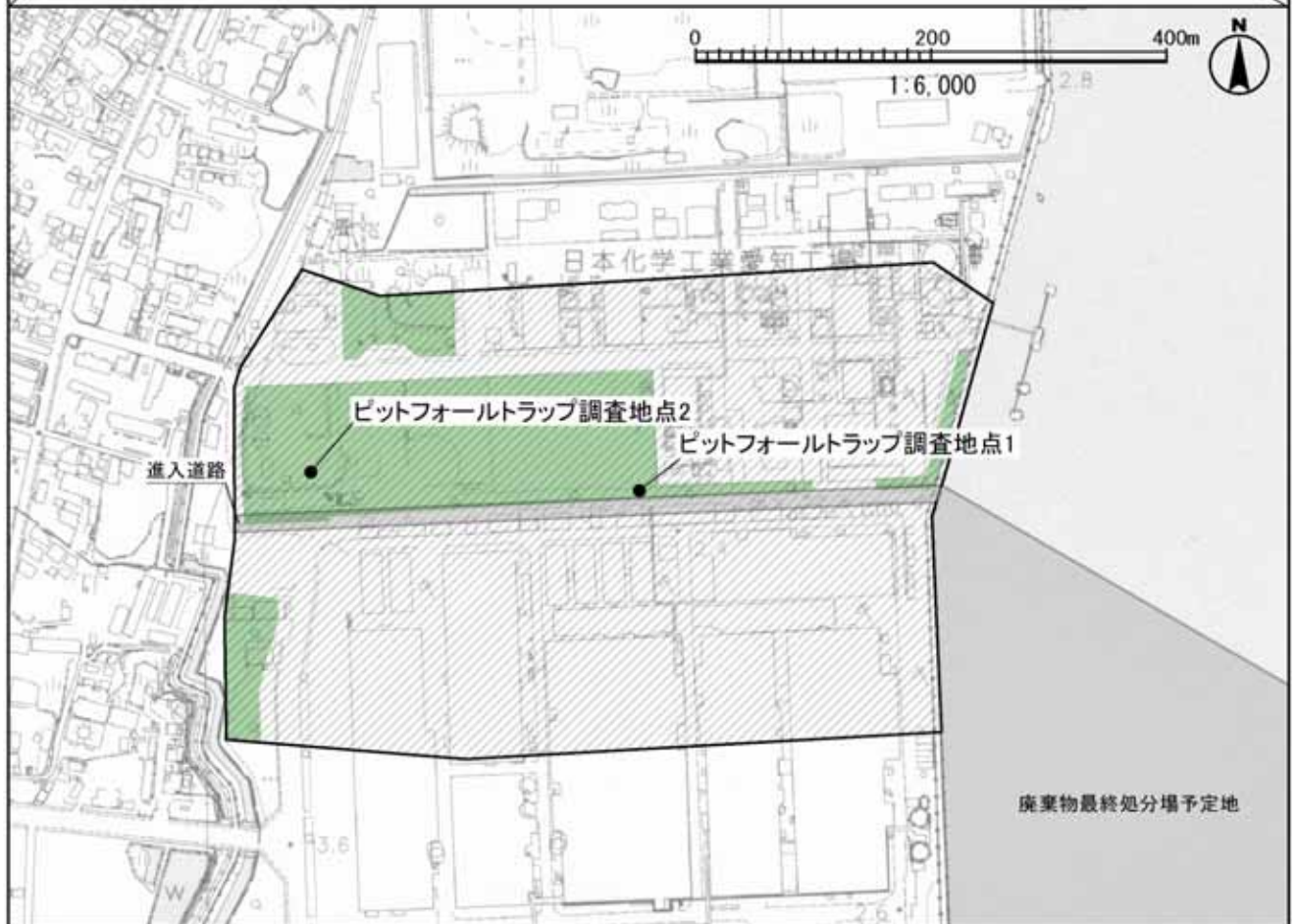
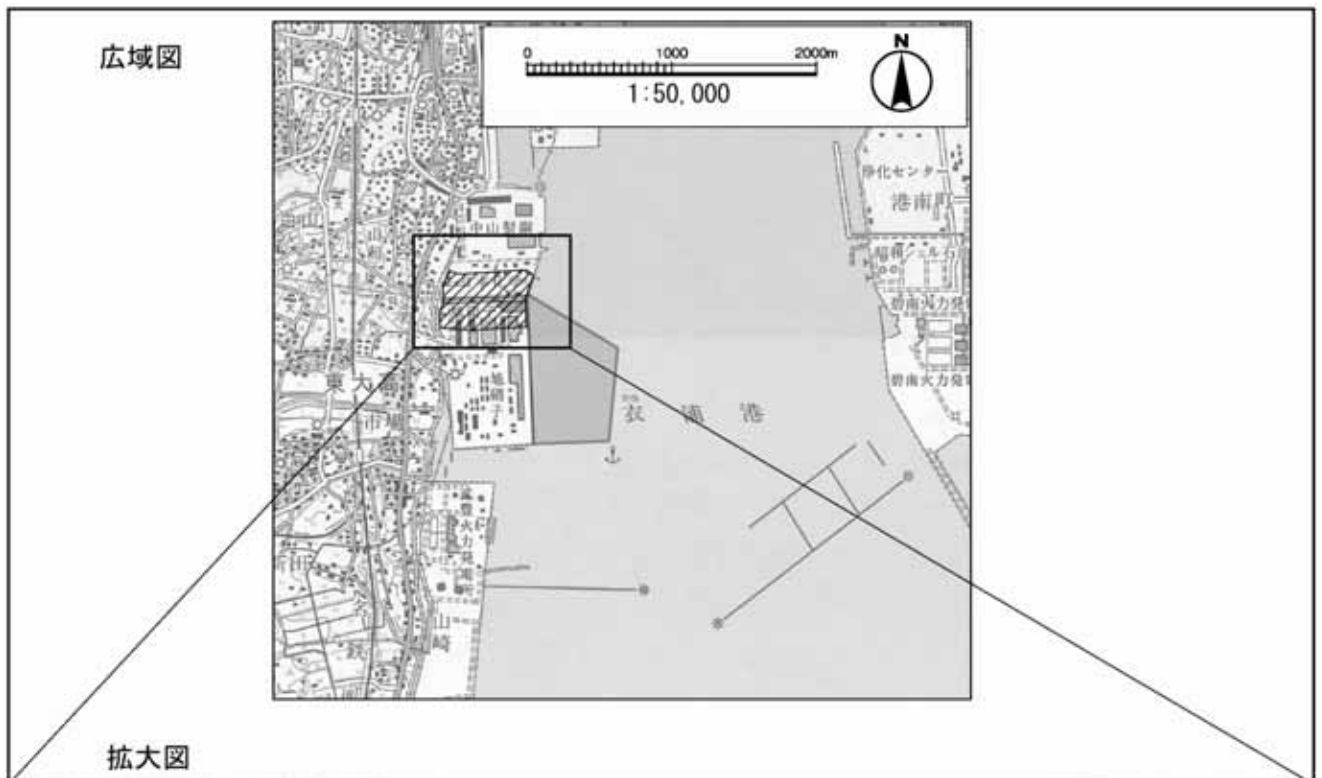


図 1 調査位置図

凡 例





- |   |          |   |                                     |
|---|----------|---|-------------------------------------|
|  | : 現地調査範囲 |  | : 事業実施区域                            |
|  | : 調査地点   |  | : 空中写真(平成18年6月20日撮影)から調査範囲内に認められた緑地 |

表3 クモ類確認種一覧(1/2)

目名	科名	種名	調査時期/確認方法							
			秋季		冬季	春季		夏季		
			任意	トラップ	任意	任意	トラップ	任意	トラップ	
目	タマコグモ科	シャラクダニグモ								
	センショウグモ科	ハラビロセンショウグモ								
	ウスグモ科	マネキグモ								
	ヒメグモ科	ニホンヒメグモ								
		アシプトヒメグモ								
		シロカネイソウロウグモ								
		オナガグモ								
		ムナボシヒメグモ								
		フタオイソウロウグモ								
		オオヒメグモ								
		ハンゲツオスナキグモ								
		スネグロオチバヒメグモ								
		アシナガグモ科	チュウガタシロカネグモ							
	トガリアシナガグモ									
	ヤサガタアシナガグモ									
	アシナガグモ									
	ウロコアシナガグモ									
	ジョウロウグモ科	ジョウロウグモ								
	コガネグモ科	オニグモ								
		ナガコガネグモ								
		コガタコガネグモ								
		ゴミグモ								
		コガネグモダマシ								
		ナカムラオニグモ								
		ドヨウオニグモ								
		ヘリジロオニグモ								
	コモリグモ科	コモリグモ科の一種								
		ハラクロコモリグモ								
		ウツキコモリグモ								
		カイゾクコモリグモ属の一種								
		キバラコモリグモ								

表3 クモ類確認種一覧(2/2)

目名	科名	種名	調査時期/確認方法							
			秋季		冬季	春季		夏季		
			任意	トラップ	任意	任意	トラップ	任意	トラップ	
クモ目	キシダグモ科	キシダグモ科の一種								
	ササグモ科	ササグモ								
	クサグモ科	クサグモ								
		コクサグモ								
	クロガケジグモ科	クロガケジグモ								
	コタナグモ科	コタナグモ								
		ネコハグモ								
	ガケジグモ科	ガケジグモ科の一種								
		メガネヤチグモ								
	アシナガコマチグモ科	アシナガコマチグモ								
	イタチグモ科	イタチグモ								
	フクログモ科	フクログモ科の一種								
		ヤハズフクログモ								
		ヒメフクログモ								
	オトヒメグモ科	オトヒメグモ								
	ワシグモ科	ワシグモ科の一種								
		シノノメトンビグモ								
	エビグモ科	エビグモ科の一種								
		キンイロエビグモ								
		キハダエビグモ								
	カニグモ科	カニグモ科の一種								
		ハナグモ								
		シロスジグモ								
		アズチグモ								
		アズマカニグモ								
		オオヤミイロカニグモ								
	ハトリグモ科	ネコハエトリ								
		マミジロハエトリ								
		ヤハズハエトリ								
キレワハエトリ										
アオオビハエトリ										
ヒトリコゲチャハエトリ										
ヤガタアリグモ										
ヤサアリグモ										
アリグモ										
ミスジハエトリ										
1目		22科	67種	28種	1種	12科	19種	2種	45種	2種
			14科29種		17種	12科21種		19科46種		

2 潮流の現況再現性について、潮流楕円の計算値と実測値との相関を説明されたい。

潮流楕円の長さに関する相関は図1及び図2のとおりです。

相関係数は、夏季・冬季ともに0.8以上であることから、計算値の再現性は良好であると準備書に記述しております。

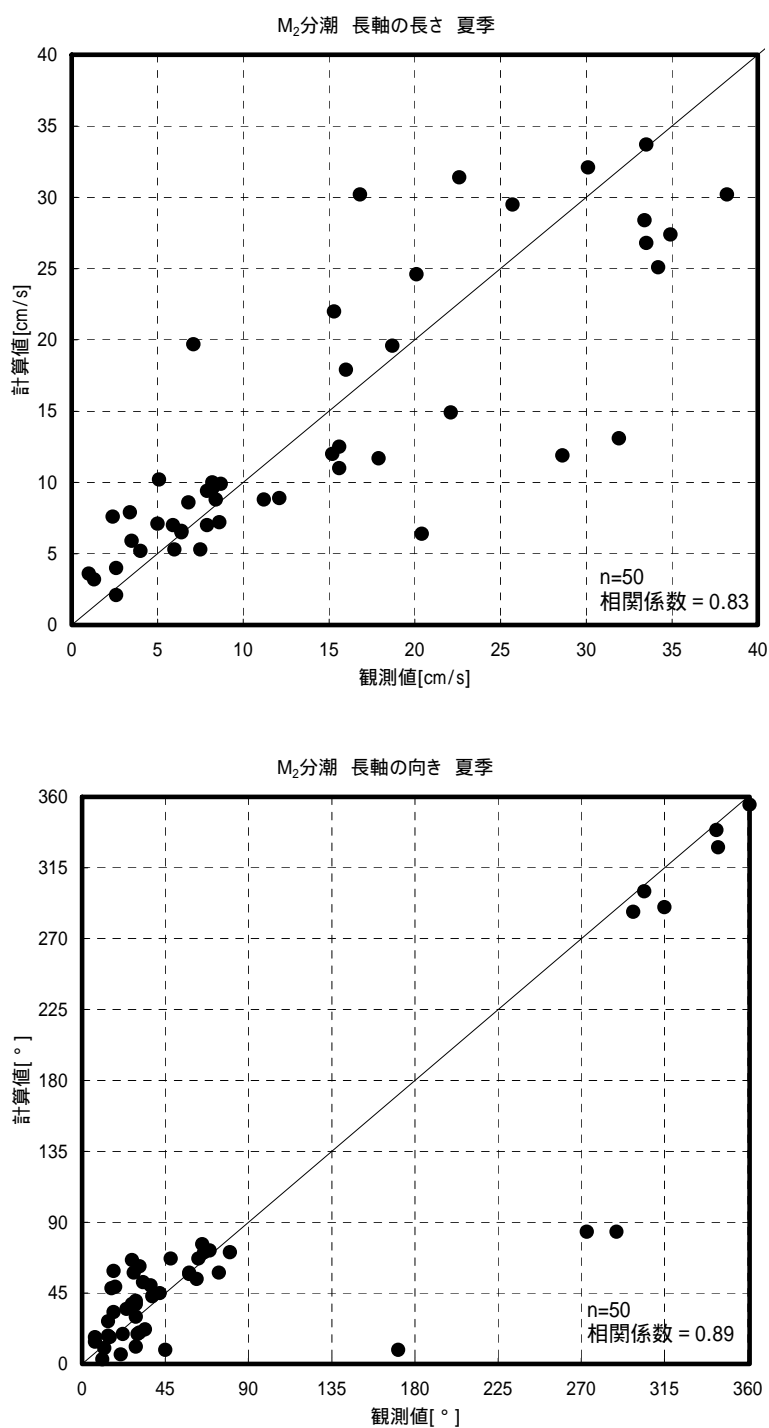


図1 観測値と計算値との潮流楕円の長軸の長さ及び向きの相関（夏季）

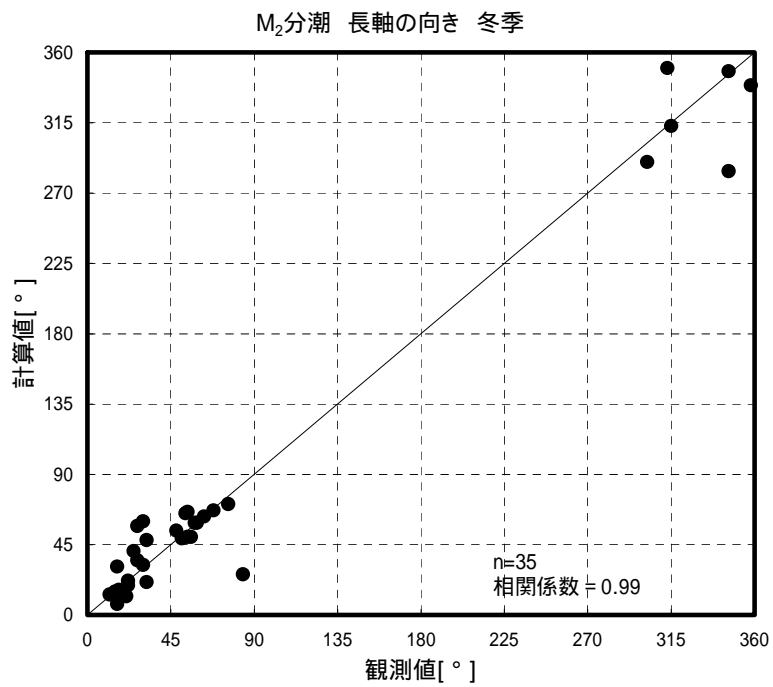
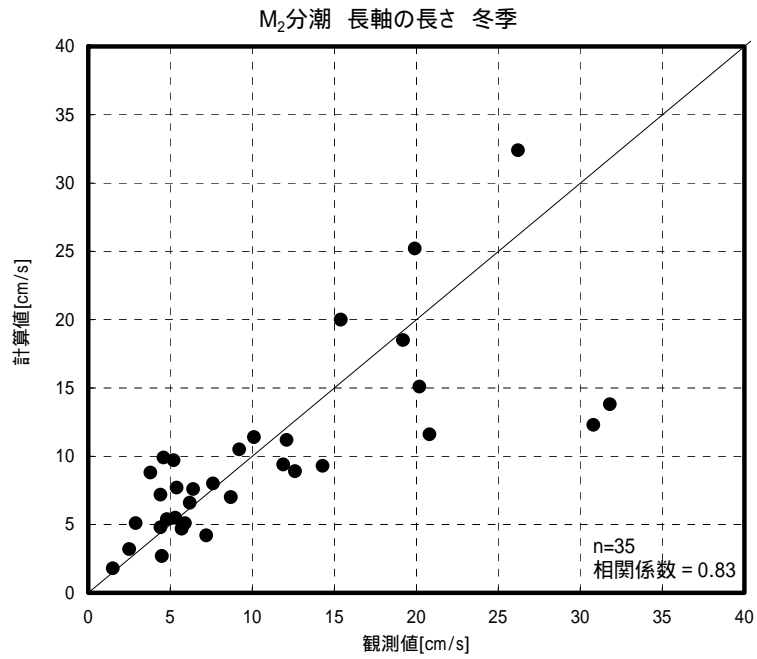


図2 観測値と計算値との潮流楕円の長軸の長さ及び向きの相関（冬季）

3 食物連鎖図において、肉食性鳥類（トビなど）、魚食性鳥類（カワウ、ミサゴなど）及び雑食性鳥類（スズガモ、イソシギなど）の位置付けについて、再整理されたい。

準備書では、他の消費者に採餌されない上位のものを高次消費者として、同じグループ分けで記載しておりますが、ご指摘の点を踏まえて、魚食性鳥類のカワウ、ミサゴなど、肉食性鳥類のトビなどは高次消費者の中でも比較的下位に位置するよう図 6.9-1を別紙のとおり整理しました。

なお、スズガモ、イソシギなどは肉食性鳥類のハヤブサに採餌される場合もあるので、二次消費者のままとしておりますが、主に底生生物を捕食することから底生生物食性鳥類として分類しました。



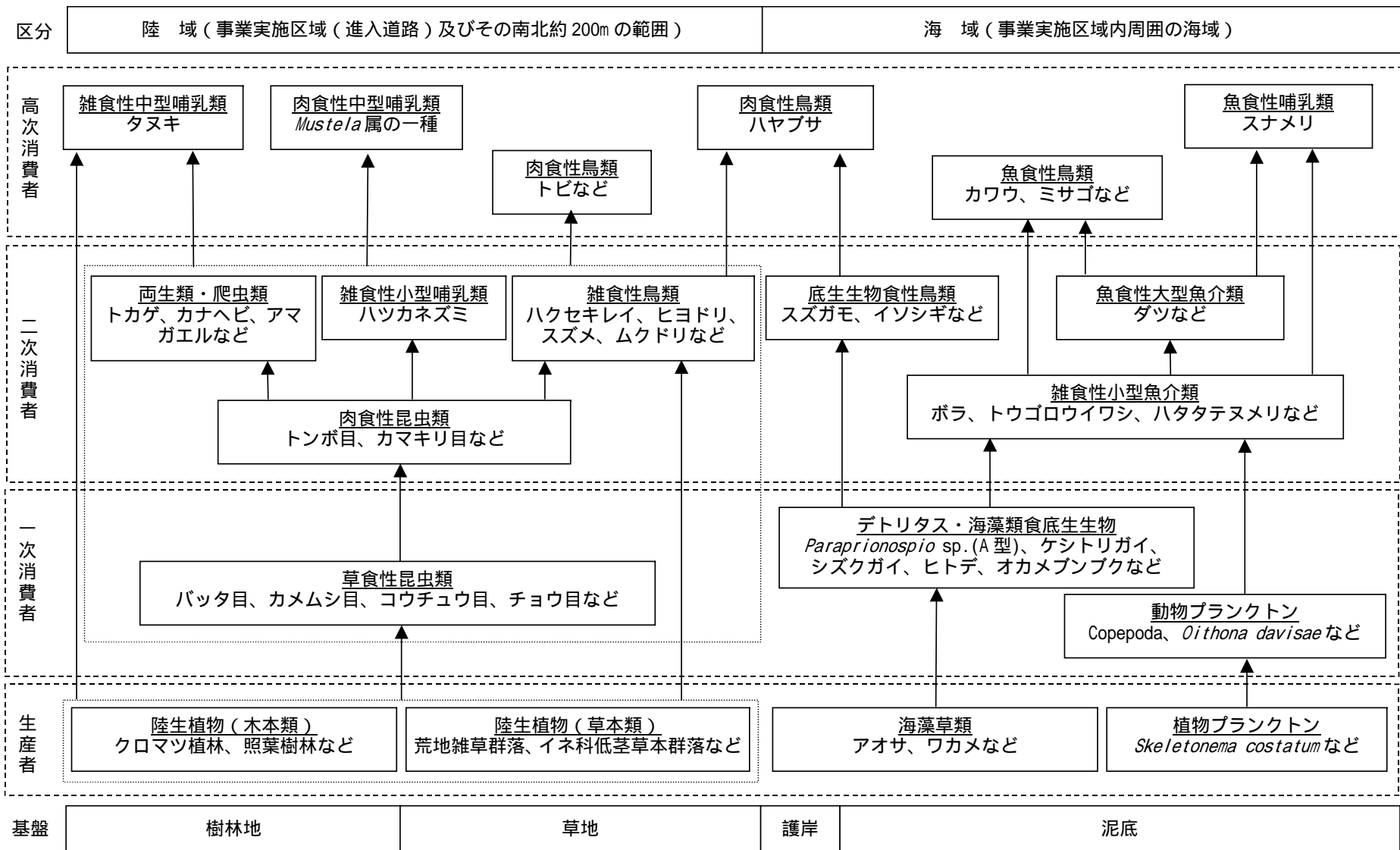


図 6.9-1 事業実施区域（進入道路）及びその南北約 200m の範囲並びに事業実施区域周囲の海域における食物連鎖の概要